

これまでの畜産部会の議論の推移

平成 25 年度第 3 回部会（平成 26 年 2 月 17 日）

1. 諮問（酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針及び家畜改良増殖目標）

平成 25 年度第 4 回部会（平成 26 年 3 月 24 日）

1. 新たな酪農・乳業対策大綱の検証に向けて
2. 委員によるプレゼンテーション
中野委員（乳資源確保と酪農乳業の持続的発展に向けて～ 乳業者の視点から～）
藤井委員（酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針改訂にあたり）

平成 26 年度第 1 回部会（平成 26 年 4 月 24 日）

1. 現行酪肉近基本方針の検証（酪農・乳業、飼料、環境、消費・安全）
2. 家畜及び鶏の改良増殖目標見直しの検討
3. 委員によるプレゼンテーション
近藤委員（社会・消費者の価値変化に応える～安心安全な畜産を目指して～）
山内（孝）委員（飼料に関する現状と課題 今後の方向性など）
石澤委員（飼料用米が「日本」を救う）

第 2 回部会（平成 26 年 5 月 27 日）

1. 現行酪肉近基本方針の検証（食肉関係、担い手、6 次産業化、輸出等その他重要事項）
2. 委員によるプレゼンテーション
那須委員（21 世紀・安全安心な食料確保を！！
～女性のポテンシャルは未来のパイオニア～）
笹崎委員（これからの日本養豚の方途―第 6 次産業化の実践の中から―）
廣野委員（酪農を夢のある産業に、強い酪農・持続可能な酪農を目指して）

第 3 回部会（平成 26 年 7 月 3 日）

1. 本格的議論のための酪農・乳業関係の課題の整理

第 4 回部会（平成 26 年 7 月 31 日）

1. 本格的議論のための飼料関係の課題の整理
2. 本格的議論のための畜産環境関係の課題の整理
3. 本格的議論のための消費・安全関係の課題の整理

第 5 回部会（平成 26 年 8 月 29 日）

1. 本格的議論のための肉用牛・食肉関係の課題の整理
2. 家畜改良増殖目標見直しの検討状況
3. 委員によるプレゼンテーション
築道委員（国内牛肉流通の特徴と課題及び必要な取組みなど）

(参考)

現行酪肉近の構成

第1 酪農及び肉用牛生産の近代化に関する基本的な指針

- 1 我が国における酪農及び肉用牛生産の役割・機能
- 2 畜産・酪農所得補償制度の導入
- 3 6次産業化の取組等による持続可能な酪農及び肉用牛生産への転換
- 4 資源循環型で環境負荷軽減に資する自給飼料基盤に立脚した酪農及び肉用牛生産への転換
- 5 消費者ニーズに応えた畜産物の生産・加工・流通と畜産に対する国民の理解の確保

第2 生乳及び牛肉の需要の長期見通しに即した生乳の地域別の需要の長期見通し、生乳の地域別の生産数量の目標、牛肉の生産数量の目標並びに乳牛及び肉用牛の地域別の飼養頭数の目標

第3 近代的な酪農経営及び肉用牛経営の基本的指標

第4 集乳及び乳業の合理化並びに肉用牛及び牛肉の流通の合理化に関する基本的な事項